

村田光隆議員

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

政務活動費収支報告書

領収書（写し）綴り

様式第1号・その1（第7条関係）

政務活動費収支報告

平成29年4月6日

向日市議会議長
小野 哲 様

会 派 名

経 理 責 任 者

村田光隆



平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）
政務活動費収支報告書について

向日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項
に基づき、別紙のとおり、平成28年度（平成28年4
月～平成29年3月）政務活動費収支報告書を提出しま
す。

様式第1号・その2 (第7条関係)

政務活動費収支報告書

平成28年度 (平成28年4月～平成29年3月)
政務活動費収支報告書

会派名 村田光隆

1 収 入
政務活動費 129,600 円

2 支 出 (単位：円)


項 目	金 額	備 考
調査旅費	46,390円	先進地視察(東京都荒川区)
研究研修費	35,100円	議員研修費
資料購入費	19,440円	福祉新聞年間購読費
資料作成費	380円	向日市役所コピー代
合 計	101,310円	

3 残 額 28,290 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

交通費

領 収 証

株式会社 JTB西日本 

〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31
2016年5月13日

領収金額 26,500円

領収者 村田 光隆

領収場所 東京都港区六本木6-2-31

領収者印 (Seal area)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

①3017016 T 03-5289-3940

お客様用

宿泊費

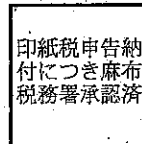
調査旅費として1泊 1万3千1百円

領 収 書 <RECEIPT>

2016/05/13

No. 014623

お名前(Name) 村田 光隆 様
但書 宿泊料として



作成地：東京都港区六本木

金額(Total) 26,500 円(yen)
<内消費税(Tax) 1,946 円(yen)>

上記金額正に領収いたしました。

署名(Signature)

ホテルマイステイズ御茶ノ水CC
HOTEL MYSTAYS Ochanomizu Conference Center
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-10-6
Tel.03-5289-3939 (代) Fax.03-5289-3940
(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント
(MYSTAYS HOTEL MANAGEMENT Co.,Ltd.)
〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31
Tel.03-3434-3939 (代) Fax.03-6866-4352



食事代



三浦里駅前店

領収書

アルバイト募集中
TEL 03-5615-3194

2016年 5月11日(水)12時39分000101

コースかつ定食 ¥490内
伝票No. 7 テーブルNo. 203

小計額	¥490
(内税)	¥36
合計	¥490
預/現計	¥1,000
お釣	¥510
合計点数	1点

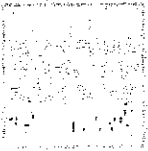
11 扱田多井美和 No.0690 1名

村田光隆

領収証

2016年5月11日

¥4,980-



担当者



折って保管願います。 0001-3386

但し飲食代として
LE BREZZE
東京都中央区銀座7-2-22
同ビル2F

研修参加費

領 収 書		No. 417
村田光隆 殿	平成28年5月12日	
¥15,000		
但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (28.5.12~5.13) 上記の金額を領収いたしました		
財団法人 日本自治創造学会 理事長 穂坂邦夫 〒108-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-12-2 ダック馬喰町 707号 TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473		

宿泊費 1泊 1万3千1百円 領収書は調査旅費に添付

食事代

BURGERKING

http://www.burgerkingjapan.co.jp

(株)バーガーキングジャパン お茶の水サクレール店

千代田区神田駿河台4-3

03-5577-6193

POS#1 NO. 8260 2016/05/12 11:46

メニュー	単価	数量	金額
★味"カト"バーガー	¥210	1	¥210
S7フレッシュ	¥190	1	¥190
S7アイス	¥100	1	¥100
合計			¥500
(内、消費税等)			¥37
現金	¥500	受け取り金額	¥500
カード	¥0		
GC	¥0	お釣り	¥0

POS ID : 000826

レシート番号: 01260

"ダブル"でボリューム満点!!

新発売『DOUBLE KING』Sセットで490円!!!

是非一度お試しください!!!

E/I

2016年5月12日 木曜日

領収証
様

村田光隆

¥5,000-

但し、
G A E L A 東京都港区六本木7-15-10
センタービル2階
TEL 03-5414-1700
※保管上のお断り
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

領収証No 4248

領収証

村田光隆

様

No. _____

★ 7,376-

但

7月12日

2016年5月13日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入

印 紙

コクヨ ウケ-55

うち
1500円
計上

110-代

納付通知書兼領収証書

納付通知書兼領収証書

納付者
住所
京都府向日市寺戸町中野20番地
向日市役所内

納付者
住所
京都府向日市寺戸町中野20番地
向日市役所内

氏名
村田 光隆 様

氏名
村田 光隆 様

第3001005号 平成28年度 会計

第3001475号 平成28年度 会計

款 19 諸収入 項 04 雑入

款 19 諸収入 項 04 雑入

目 02 雑入 節 01 雑入

目 02 雑入 節 01 雑入

下記の金額を期限までに納めてください。

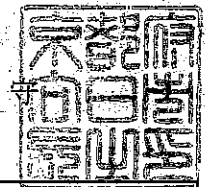
下記の金額を期限までに納めてください。

平成28年8月4日

平成28年10月3日

京都府向日市長 安田 守

京都府向日市長 安田



金額 130円

金額 90円

ただし、
平成28年4月～6月分私用コピー料

ただし、
平成28年7月～9月分私用コピー料

納付場所：市役所又は取扱金融機関（裏面）
納期限：平成28年8月31日

納付場所：市役所又は取扱金融機関（裏面）
納期限：平成28年10月31日

領収証書

領収証書

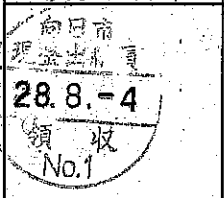
上記の金額を領収しました。

上記の金額を領収しました。

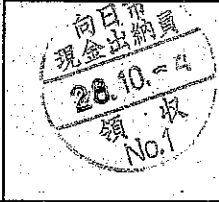
領収日付印

領収日付印

向日市会計管理者
向日市指定金融機関
向日市指定代理金融機関
向日市収納代理金融機関



向日市会計管理者
向日市指定金融機関
向日市指定代理金融機関
向日市収納代理金融機関



(納付者保管)


向日市

(納付者保管)

向日市


納付通知書兼領収証書

納付通知書兼領収証書

納付者 住所 京都府向日市寺戸町中野20番地 向日市役所内			
氏名 村田 光隆 様			
第3002393号	平成28年度	会計	
款 19 諸収入	項 04 雑入		
目 02 雑入	節 01 雑入		
下記の金額を期限までに納めてください。 平成29年1月5日 京都府向日市長 安田 守			
金額	80円		
ただし、 平成28年10月～12月分私用コピー料			
納付場所：市役所又は取扱金融機関（裏面） 納期限：平成29年1月31日			
領収証書 上記の金額を領収しました。		領収日付印	
向日市会計管理者 向日市指定金融機関 向日市指定代理金融機関 向日市収納代理金融機関			

(納付者保管)

向日市

納付者 住所 京都府向日市寺戸町中野20番地 向日市役所内			
氏名 村田 光隆 様			
第3003294号	平成28年度	会計	
款 19 諸収入	項 04 雑入		
目 02 雑入	節 01 雑入		
下記の金額を期限までに納めてください。 平成29年3月31日 京都府向日市長 安田 守			
金額	80円		
ただし、 平成29年1月～3月分私用コピー料			
納付場所：市役所又は取扱金融機関（裏面） 納期限：平成29年4月28日			
領収証書 上記の金額を領収しました。		領収日付印	
向日市会計管理者 向日市指定金融機関 向日市指定代理金融機関 向日市収納代理金融機関			

(納付者保管)

向日市

資料購入費

福祉新聞代

払込票兼受領証

口座 番号	00140-2	通常払込 料金加入 者員別
	右請めにご記入ください	
加入者名	株式会社 福祉新聞社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
	¥ 19440	
払込人住所氏名	向日町寺戸町二枚組10-39 村田光隆	
料 金	(消費税込)	受付局日附印
円		28-03-15 向日町駅前 郵便局
特殊取扱		(44311) N94260009

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

平成28年4月～平成29年3月

28向議第640号
平成28年4月15日

東京都荒川区議会
議長 斎藤泰紀 様

京都府向日市議会
議長 小野 哲

会派視察研修について（依頼）

陽春の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当市議会会派「MUKOクラブ」並びに会派に属さない議員・村田光隆議員の一行が、下記のとおり貴区にお伺いいたしまして、種々ご教示を賜りたいと存じます。

つきましては、何かとご多忙のところ誠に恐縮でございますが、ご配慮方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成28年5月11日（水）午後1時30分～午後3時30分
- 2 人 員 議員4人（随行なし）＊別添名簿のとおり
- 3 視察事項 荒川区観光施策の推進について

平成28年度 向日市議会『MUKOクラブ・村田光隆議員』会派行政視察日程表

視 察 先	視 察 日 程	宿 泊 先
5月11日(水) 東京都 荒川区	<p> JR京都市線 のぞみ4号(東京行)・JR山手線 上野方面行 向日町 — 京 都 — 東 京 — 日暮里 — 東京都荒川区 8:59 発 9:07 着 11:33 着 11:54 着 9:18 発 11:43 発 (昼食) 行政視察 (13:30~15:30) 視察項目：荒川区観光施策の推進 について 議事事務局 Ⅱ.03-3802-4991 御茶ノ水 — 向日町 JR京浜東北線・中央線 16:02 発 16:17 着 宿泊地 (東京都千代田区) </p>	<p> 【宿泊先】 マイステイズ御茶 の水 東京都千代田区神 田 炭路町2-10-6 Tel.03-5289-3939 </p>
5月12日(木) ~ 5月13日(金) 日本自治創造学会 研究大会	<p> 5月12日(木)~5月13日(金) 日本自治創造学会 研究大会 JR京都市線 のぞみ121号(岡山行) 東 京 — 京 都 — 向日町 18:00 発 20:17 着 20:39 着 20:32 発 </p>	

会派視察研修報告 1

向日市議会議員 村田光隆

日 時	平成28年5月11日 (水) 午後1時30分～午後3時30分
場 所	東京都荒川区
視察テーマ	荒川区観光施策の推進について
対応部局	産業経済部 観光振興課

東京都荒川区の面積は向日市より少し広い 10.16 ㎡で、都内 23 区中 2 番目に小さな区であるが、人口は約 21 万 2 千人と人口密度の高い都市である。

公共交通も JR 山手線等 4 路線、東京メトロ 2 路線、都電荒川線、京成電鉄に加え、コミュニティバスが 5 系統あり、移動に非常に便利な地域である。

観光振興にも力を入れており、89 の店がある日暮里繊維街を始め、下町の風情がある都電とその沿線、富士見坂やスカイツリーが見られるスポット、松尾芭蕉旅立ちの地に立つ芭蕉像、年間 38 万人が利用する唯一の区立遊園地である あらかわ遊園など観光スポットが豊富にある。

その区内にある観光スポットや史跡を巡り歩いて、案内してくれるのが、観光ボランティアガイドだ。5 名から 20 名で 2 週間前より申し込みができ、2～3 時間のおすすめコースが 5 つ用意されている。このガイドの特徴は利用料が無料ということだ。

区によると、現在 56 人のガイドさんがおり、無給で案内をしてくださっているという。皆さん荒川区のことが好きで、区の魅力を伝えるために活動されているとのことであった。また区内で製造販売されている製品を「荒川ブランド」として発信するため、30 の事業所が集まってモノづくり見学・体験スポットという企画を実施されている。日本の伝統工芸や工業製品の製造工程を見学したり、体験ができる。

事業所へ個別に申し込む他、2,3 ヶ所を回るツアーも企画されている。

先程の観光ボランティアガイドのツアーに組み入れることも可能とのことであった。

現場を見学し、製造を体験できるこの企画は、モノづくりの難しさや大変さが実感できる。私自身も精密機械メーカーで働き、製造の難しさを経験したこと思い出した。

向日市でも将来、荒川区で実施されている観光ボランティアガイドを導入することができるのではないだろうか。

市長が掲げる主要事業の一つ「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」の名神高速道路のスマートインタチェンジが整備され、観光用の駐車場ができ、長岡宮跡や古墳群等旧跡ルートが整備された暁には、向日市検定一級を持ったボランティアガイドが市内を案内することができるよう、観光客で賑わう歴史の町向日市を目指して取り組んでいきたいと思う。

会派視察研修報告 2

向日市議会議員 村田光隆

日 時 平成28年5月12日(木)～13日(金)
場 所 明治大学アカデミーホール
主催 日本自治創造学会
研修テーマ 地方が創る日本の未来

日本自治創造学会は「地方が創る日本の未来」というテーマで研究大会を開催した。何人かの講師がそれぞれの専門的立場で地方創生を考えるという内容であり、講演された講師の方々の主張を考察する。

～福祉でまちおこしを～を講演された村木厚子氏は、社会保障関連費の増大により、社会保障と税の一体改革で早急に税制を改革しなければ、この国は立ち行かなくなると主張され、消費税を10%に引き上げよと論じられた。

確かに社会保障費は増大の一途を辿り、増税もやむを得ないかもしれないが、まずは国民に負担をお願いする前に国会議員・国家公務員の身を切る改革を行うのが先であると考え

る。その後でどうしても足りない分を増税という形でお願いするのが筋であろう。今年公務員の給与が引き上げられたが、そのようなことをしておいて増税するのは間違っていると思う。

また、村木氏は人口減少による労働力の確保に、障害者の雇用拡大を訴えておられたが、私も同意見である。障害者は仕事の覚えが悪く、動作も鈍くただの足手まといだと思うのではなく、その人の障害を理解し、得手不得手を知ることによって能力を引き出していくことができる。上手く付き合っていくことで、職場の雰囲気も良くなり活気づいていくのである。ある職場で、疎ましい存在から愛すべき存在に変わった事例を紹介されていた。

障害者も皆と同じ社会を構成する一員なのだと認識することが大切である。

～地方自治の課題と再生～と題した藻谷浩介氏は、人口減少が続く少子化、高齢化を独自の視点で分析されている。各自治体の人口を15歳未満、15歳以上64歳未満の生産年齢人口、65歳以上に分け、この自治体がこのまま推移すれば後何年持つのかという主張をされていた。

愛知県豊田市では団塊の世代が退職してから高齢化率が上がったという。地元の企業トヨタが退職した人数よりも大幅に採用数を減らしたのが原因だとのことだ。減らした分をロボット化し、生産年齢人口が増えず、市の税収が将来に渡って落ち込むという分析であった。確かに生産年齢人口は減ることにはなるが、従業員が減った分を設備投資し、ロボッ

ト化することで生産効率も上がり、企業収益が増えるので一概に税の減収にはならないのではないかという疑問を持った。

東京は全国でも有数の高齢化率が進んでいる都市で、15歳未満、15歳以上65歳未満の生産年齢人口ともに、現在も将来に渡っても減少していく、東京こそが危機意識を一番持たなければならないとのことであった。

人口減少社会に備えた人手不足解消策と優秀な人材確保は企業や自治体の課題である。

～地方創生を考える～地方創生のあり方を講演された金井利之氏は、安倍総理が掲げる希望出生率1.8は根拠のないいい加減なものだと主張する。

現在の合計特殊出生率は1.4で、日本の人口が増えるための置換基準が出生率2.1だから、1.8という数字は単純に現在の出生率と、人口増に転じる出生率を足して2で割ったもので、少子化対策を掲げる以上は希望出生率を2.1以上にしなければならないというものであった。

金井氏のこの主張に、私は異論を持った。現在の我が国の経済状況、非正規ばかりが増える雇用形態、核家族化による家族のあり方を考えると、現時点での希望出生率2.1以上というのは、極めて非現実的であり、無責任な数値目標であるように思う。

まずは希望出生率1.8を達成するために様々な施策を講じる努力をしていくべきである。出来もしない目標を掲げるのは先の民主党政権と同じである。出生率1.8も大変な数字であるが、現政権の手腕に期待したい。

今回の研修会は各専門分野の講師が様々な視点から地方創生を論じられ、私との意見の違いもあったが、色々な問題が見えてきたことに意義があった。次回も参加させていただきたいと思う。